

登録コード	BS110500	開講年度	2026	大学院共通科目			
授業題目	科学技術政策特論					担当教員	濱渦 康範 他
英文授業名	Science and Technology Policy					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限	対象学生	全研究科の大学院生
講義室	理学部多目的ホール 講義2・3番講義室 工口・203教室 農学部1・6番講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					⇔	
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	
(2)授業の概要	オムニバス形式の実務者・有識者による講義を通して、国内外の科学技術政策や研究開発の動向を俯瞰するとともに、先端的・学際的な研究開発の推進方策、科学技術イノベーションと産業・地域・大学との関わり、次代を担う研究者・技術者に期待される役割等について考える。						
(3)授業計画	ZOOM形式によるオンライン授業とする。各回の授業内容は以下のとおり。（日程・タイトル・内容等に変更となる場合があるため、最新情報はeALPSを確認すること。） なお、講義資料、ZOOMミーティングID等の情報については、eALPSに掲載する。 第1回：10月1日（木）13:00～14:30 「研究成果の社会実装に向けた科学技術・イノベーション政策の取り組みについて」 講師 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 小林 洋介 主任研究員 第2回：10月1日（木）14:40～16:10 「研究成果の社会実装に向けた科学技術・イノベーション政策の取り組みについて」 講師 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 小林 洋介 主任研究員 第3回：10月8日（木）13:00～14:30 調整中 第4回：10月8日（木）14:40～16:10 調整中 第5回：10月15日（木）13:00～14:30 調整中 第6回：10月15日（木）14:40～16:10 調整中 第7回：10月22日（木）13:00～14:30 調整中 講師 株式会社エマージングテクノロジーズ 深澤 知憲 代表取締役社長 第8回：10月22日（木）14:40～16:10 調整中 講師 株式会社エマージングテクノロジーズ 深澤 知憲 代表取締役社長 第9回：10月29日（木）13:00～14:30 「研究が変える農林水産業」 講師 農林水産省 佐藤 夏人 農林水産技術会議事務局 研究総務官 第10回：10月29日（木）14:40～16:10 「研究が変える農林水産業」 講師 農林水産省 佐藤 夏人 農林水産技術会議事務局 研究総務官 第11回：11月5日（木）13:00～14:30 調整中 講師 長野県庁 新田 恭士 長野県副知事 第12回：11月5日（木）14:40～16:10 調整中 講師 東日本旅客鉄道株式会社 下大藪 浩 執行役員 長野支社長 第13回：11月12日（木）13:00～14:30 調整中 第14回：11月12日（木）14:40～16:10 調整中 第15回：11月19日（木）13:00～14:30 「Science Communication」 講師 宇宙航空研究開発機構（JAXA） Elizabeth Tasker 准教授						
(4)成績評価の方法	・ 期末レポートにより評価する。 ・ 詳細はオリエンテーションの際に説明する。						
(5)成績評価の基準	・ 期末レポートは、課題について、基本問題を説明し、課題に対する既存の見解及び自身の今後の研究活動や、キャリアデザインについての見解が提示されていれば「合格水準にある」、基本問題及び今後の発展性について説明し、課題に対する既存の見解及び自身の今後の研究活動や、キャリアデザインに						

(5)成績評価の基準	ついついの見解が提示されていれば「やや上にある」、基本問題及び今後の発展性について説明し、課題に対する既存の見解に加え、自身の見解を適切に示し、それらが自身の今後の研究活動や、キャリアデザインにどのように関連し役立てられうるかについての見解が提示されていれば「かなり上にある」、「かなり上にある」のうち、示された内容が教員が教員を感心させるレベルにあるものを「卓越している」として評価する。
(6)事前事後学習の内容	なし
(7)履修上の注意	・本科目は2026年度開講をもって終了します。2025年度以前の入学生のうち、本科目を選択必修科目として認定を受ける必要がある場合は、今回必ず履修してください。 ・本科目については、授業担当教員への履修の意思表示は必要ありません。 ・本科目は全ての回に出席することを原則としますが、社会人学生等でやむを得ず欠席した場合には、eALPSに各回の授業映像を一定期間（講義日から3日程度）掲載するので、当該講義の授業映像を最後まで視聴してください。 ・本科目は、産学官の各界から多彩な講師を招へいします。各回では可能な限り質疑討論の時間も設ける予定ですので、質疑討論には積極的に参加する心構えを持って受講してください。 ・本科目は大学院共通教育用科目です。全研究科の大学院生の受講をお待ちしています。 ・本科目は、2026年度より修士課程在籍時の既修得単位認定の対象外となりました。修士課程において本科目を履修・修得済みであっても、博士課程の入学前既修得単位として認定することはできません。
(8)質問,相談への対応	・各回の授業内容に関する質問は、授業時に講師へ直接行ってください。 ・その他授業全般に関する質問等は、大学院室（daigakuin@gm.shinshu-u.ac.jp）へメールで問い合わせてください。
(9)その他	毎回設定するテーマに深く関連する講師を招き、当該テーマに関する現状、課題、将来について、講義を受け、質疑討論する。
【教科書】	教科書は用いません。
【参考書】	参考資料は授業中に適宜資料を紹介します。